

衛生講話	健康視察	注意書ノ配布	豫防注射	工場衛生係主任會議	ボスター	雇員	保菌調査	注意及指示	囑託醫	雇員
六月二十日 京都織物株式會社紫野分工場ニ於テナセル外十一工場ニ於テ施行ス 十月九日 日本燃絲工場内ニ於テ開催セルヲ始メトシ十月中ニナセル工場延數ハ二十一 聴講者 男 一五一四人 女 五九七人 其他 三〇七人 計 七四一八人 十一月中モ臨時之ヲ行フ	五月 四回 六月 二九回 七月 四二回 八月 三四回 九月 四六回 以上計 一五五回 (延工場數約六五〇)	六月二十一日 第一回 (府下全部工場凡一八〇〇) 八月九日 第二回 (同) 九月十日 第三回 (同) 主トシテ白癩的ニナス様督勵ニ努メ保ヨリ應接セルモノ少シ	同上	十月一日 關係地工場ノ千三百中特ニ注意スヘキ工場ノ衛生係主任ヲ召集シテ會議ヲ開催 工場側出席者 七十七名 各署ヨリ 六名 專賣局工場ヨリ 一名	四月二十日 雇員二名ヲ置ク	五月二日 防疫係ト協同シテ保菌調査ヲナサンタメニ工場炊事係員ノ調査ヲ始ム 五月八日 各署工場係ノ打合せ會ニ於テ大體工場衛生上ノ注意及ヒ指示ヲナス	六月十三日 囑託醫一名ヲ置ク	八月二十七日 雇員一名ヲ増員ス	十月下旬工場衛生上ノ注意ヲ喚起スルタメニボスターヲ配布ス 十一月一日、ボスター(第判)ヲ府下全部ノ工場ニ配布ス、其數、五〇枚	

(尙ホ四月ヨリ十二月末日迄ニ於ケル諸施設ノ統計上ノ成績左ノ如シ)

衛生講話	注意書ノ配布	工場ニ於ケル種痘狀況	腸チフス豫防注射施行ノ狀況	工場炊事係員ノ保菌調査
工業従業員、役員及工場主ニ對シ衛生思想ノ普及向上ヲ期ス 全 回 數 三四回 聴衆總計 一〇、〇二一名 其他各工場ヲ指導シテ其囑託醫、工場主若クハ衛生係員ヲシテナサシメタルモノ 凡 ソ 一、〇〇〇回 アリタリ	七月以來十一月迄毎月一回宛一枚刷ノ注意書ヲ府下全部ノ工場ニ配布ス 總 計 九、五〇〇枚	府下全部ノ工場主ニ對シ種痘ヲ督勵セル結果従業員ニテ種痘ヲナセルモノ 總 計 一六、二一〇人	府下全部ノ工場ニ對シ腸チフス豫防注射ノ督勵ヲナシタリ 總 計 二一、九九八名	市内及ヒ隣接地ニアル工場ノ炊事係員ノ保菌調査ヲナセルモ病原菌ヲ發見セス 共ノ數 六二三名

他ノ係ノ主管ニ屬セサル事項

三月八日ヨリ三月十日迄内務省ニ於テ大禮關係二府七縣衛生課長會議開催加藤衛生課長西地方技師木村警部列席

三月十日管下各市町村長宛定期種痘ニ關スル件通牒

天然痘流行ノ兆アルトキニ當リ今年ノ定期種痘施行ニ當リテハ萬全ノ注意ヲ加フヘキ様ニ通牒セリ

三月十四日管下各署長宛痘瘡豫防ニ關スル件

定期種痘施行ニ付市町村長宛通牒ヲ發シタルニ付テハ之ト相俟テ部下ヲ督勵シ遺憾ナキヲ期スヘキ様通牒セリ

三月三十日市役所ニ於テ府市防疫協議會ヲ開催

打合事項十二件ヲ協議加藤衛生課長、西、山本技師木村警部列席

四月十日各署長宛痘瘡豫防ニ關スル件通牒

痘瘡益々蔓延ノ模様アリ仍テ各署ハ充分ナル警戒ヲ加ヘ本府ニ病毒ノ侵入ヲ防クヘキ様通牒セリ

四月十二日各署長宛痘瘡豫防ニ關スル件

有病地並ニ朝鮮支那方面トノ交通關係ニ留意シ有病地方ヨリ輸入若ハ移入スル襪履古綿古着類古敷物類ニ關シテハ特ニ警戒ヲ怠ラサル様通牒セリ

四月十六日各署長宛痘瘡病的戸口調査成績報告方ノ件通牒

痘瘡豫防ノ爲檢的病的戸口調査ヲ爲シタルトキハ日報トシテ成績報告スヘキ様通牒セリ

四月二十三日京都府醫師會評議員會ニ於ケル大禮衛生事務打合會開催

池田警察部長、加藤衛生課長、山本技師、木村警部出席、打合事項十二件ニ付協議ス

四月二十七日京都府令第四十二號痘瘡豫防ニ關スル件發布

京都市一圓及近接十七ヶ町村ニ居住セルモノニシテ痘瘡患者又ハ其ノ家ト往來シ若ハ痘瘡ニ感染シタル虞アル者ニ對シ昭和三年四月ヨリ昭和三年十二月迄ノ間ニ於テ日時及場所ヲ通知シ臨時種痘ヲ施行スヘキ様公布ス

同月同日痘瘡豫防ニ關スル府令公布ニ關スル件通牒

市内下鴨伏見太秦各署長宛府令運用ニ關シ通牒セリ

五月三日檢疫委員タル醫師配置ニ關スル件通牒

市部及伏見各署長宛檢疫委員ノ職務ニツキテ通牒セリ

五月七日家畜防疫委員配置ニ關スル件通牒

市部休見太秦署長宛家畜防疫委員ノ從事スヘキ事務ノ範圍ニ付通牒ス

五月十一日府令第五十三號死體檢案ニ關スル件發布

昭和三年四月ヨリ昭和四年三月ニ至ル間ニ於テ京都市及隣接町村ニ於テ死亡シタル者ノ中傳染病ノ疑アルモノニ付死體檢案ヲ行ヒ以テ患者ノ發見ニツトムヘキ旨公布セリ

五月十一日訓令第十七號死體檢案ニ關スル件各署長宛訓令ス

五月十一日死體檢案ニ關スル府令公布ニ付依命通牒

市内伏見各署長宛府令訓令ノ運用ニ付注意ヲ要スヘキ諸點ヲ擧ケテ通牒セリ

五月十一日埋火葬認許證取扱方ニ關スル件通牒

上京下京各區長伏見深草各町長堀内村長宛死體檢案施行ニ伴ヒ死體ニ對スル埋火葬認許證取扱方ニ付通牒セリ

五月十一日檢疫委員職務章程制定

訓令第十六號ヲ以テ公布セリ

五月十四日朝鮮人ニ對スル種痘勵行方ノ件通牒

市内下鴨伏見太秦各署長宛朝鮮人ノ集團及其ノ家族ニ對シ徹底的ニ勵行シ洩レナク受痘セシムル様通牒セリ

五月二十一日朝鮮人ニ對スル種痘勵行方ノ件通牒

郡部(伏見、太秦ヲ除ク)各署長宛通牒セリ

五月二十四日大禮關係各官公衙協議會ヲ正廳ニ於テ開催

内匠寮出張所ヲ始メ關係各官衙代表者十七名出席、大禮事務局ヨリ提出ノ打合事項ヲ協議ス

五月二十八日府令第六十二號公布

死體檢案ニ關スル府令第一條第二條ヲ訂正ス

六月一日死體檢案ニ關スル府令改正ノ義ニ付通牒

府令改正ニ付市部伏見各署長、上京下京各區長伏見深草堀内各町村長宛通牒セリ

六月十五日府令第六十七號公布

府令第五十三號死體檢案ニ關スル件中適用地域ヲ擴張ス

六月十五日檢疫委員タル醫師配置ニ關スル件通牒

太秦、宇治、木津、龜岡、園部、福知山、綾部、舞鶴、新舞鶴、宮津署長宛通牒セリ

六月十六日死體檢案ニ關スル府令適用地域擴張ノ件ニツキ依命通牒

太秦、宇治、木津、龜岡、園部、福知山、綾部、舞鶴、新舞鶴、宮津、各警察署長宛通牒アリ

六月十六日埋火葬認許證取扱方ニ關スル件通牒

關係町村長宛通牒セリ

六月二十二日京都府令第六十八號公布

痘瘡豫防ノ爲種痘法第十五條ニ依リ昭和三年六月二十五日ヨリ同年七月三十一日ニ至ル間西陣署區域内ノ現住者ハ臨時種痘ヲ受クヘキ旨公布セリ

六月二十二日訓令第一三九號公布

京都府令第六十八號ニヨリ市ニ於テ臨時種痘施行スヘキ旨京都市長宛訓令セリ

七月二十一日府都府告諭第二號公布

大禮ニ關シ衛生上必要ト認ムル施設並ニ注意事項ヲ遍ク府民ニ周知セシメ之カ實施ヲ期スルハ緊要ナリト認メ告諭公布

七月二十一日京都府訓令第二十四號公布

大禮ニ關シ各署市役所町村役場ヲシテ各其ノ住民ノ衛生思想ノ向上普及ニ努メシメ又衛生上必要ト認ムル施設並ニ注意事項ヲ實施セシメ若ハ之ヲ督勵セシムルヲ緊急ナリト認メ訓令發布

七月二十一日大禮ニ關スル衛生上施設改善並ニ注意事項督勵ノ件通牒

市部各署長宛依命通牒

七月二十四日京都府令第八十六號公布

特種傳染豫防ノタメ流行性感胃其ノ他患者ヲ診斷シ又ハ其ノ死體ヲ檢案シタル場合届出方ノ件ニ付公布

七月二十四日府令第八十六號公布ニ付依命通牒市部各署長ニ對シ通牒ス

七月二十六日衛生ニ關係アル諸營業營業臨檢心得制定

七月二十七日檢病的戶口調査勵行方ノ件通牒

市部各署長宛消化器傳染病流行期ニ入りタルヲ以テ八月一日ヨリ一齊ニ檢病的戶口調査ヲ施行シ其ノ成績報告方通牒セリ

八月十日近府縣衛生課長打合會議開催

大禮御舉行ニ際シ衛生状態ノ完壁ヲ期センカ爲福井、滋賀、岐阜、神奈川、三重、奈良、和歌山、大阪、兵庫、山口各府縣衛生課長打合會議開催左ノ件ヲ協議ス

一、傳染病患者發生狀況通報方ノ件

二、傳染病患者發生狀況通報方ノ件

三、傳染病患者發生狀況通報方ノ件

四、傳染病患者發生狀況通報方ノ件

五、傳染病患者發生狀況通報方ノ件

六、傳染病患者發生狀況通報方ノ件

二、浮浪徘徊スル癩患者取締ニ關スル件

一、精神病者ノ警戒及通報ニ關スル件

一、家畜傳染病豫防ニ關スル件

九月十日傳染病發生患家ノ消毒ニ關スル件通牒

市部各警察署長宛傳染病患者發生ノ際其ノ病毒ノ遺殘ヲナカラシムルノ方策ヲ講スル爲京都
市ト協議ヲ遂ケ技術員三名ヲシテ京都市カ編成シツ、アル三班ノ各消毒班ニ各一名宛同行セ
シメルコト、成リタルヲ以テ貴署ニ於テ之等ノ事務ニ從事スル警察官吏ヲシテ之レト連絡協
調ヲ保チ其ノ施行ヲ完全ナラシメ以テ傳染病豫防上萬遺憾ナキヲ期スヘキ様通牒セリ

九月十八日府令第九六號公布

府令第八六號流行性其他ノ患者ヲ診斷シ又ハ死體ヲ檢案シタル場合届出方ノ件中第一條「麻
疹」ノ次ニ「百日咳、風疹、水痘」ヲ加フ

九月三十日府令第九十七號公布

「コレラ」豫防ノ爲傳染病豫防法第十九條ニヨリ神戸港内ニ於テ漁撈シ又ハ同港内ヲ通過シ
タル魚介類其他病毒傳播ノ虞アル物件ノ移入ヲ停止スル旨公布セリ

九月三十日「コレラ」豫防ニ關スル取扱方ノ件通牒

醫師會長及市郡各署長宛通牒セリ

十月二日付ヲ以テ

九月二十六日以降魚介類ノ移入禁止ニ關スル府令公布

以前ニ於テ「コレラ」患者ノ發シタル神戸港ヲ經テ京都ニ移入シタル生魚賣買ノ取扱ヲナシ
タル生魚取扱業者及其販賣先ノ健康状態ニ付相當注意警戒相成度旨京都、太秦、伏見、向日
町、醍醐、宇治、井手、木津、龜岡、園部各署長宛通牒セリ

十月三日地方養蠶用料理下令相成タル料理人同家族同居人雇人等ニ對シ健康診斷並ニ保菌調査

施行方ニ關シ關係署長宛通牒セリ

十月三日京都就テニ對シ府令第九七號ヲ發布シタルニ就テハ貴市卸賣市場へ其ノ以前ニ神戸港
内ノ海水ヲ通過シタル生魚類ヲ移入セル事實有之ニ付之カ取扱ヲナシタル出入業者ニ對シ此
ノ際相當警戒ヲ發セラル、様致度旨通牒ヲ發シタリ

十月六日皇宮警察部出張所長ヨリノ依頼ニ基キ十月一日以降京都皇宮大宮御所ニ條離宮其他大
禮關係場所ニ出入スル參列者以下宮内職員商工業者職工人夫其ノ他ノ關係者ニシテ傳染病患
者發生ノ場合ニ於ケル調査報告方ニ付各署長宛通牒セリ

十月六日府醫師會長ニ對シ彙ニ協定シタル傳染病豫防上消毒方法指示ニ關スル件ニ付其ノ成績
ヲ調査スル消毒方法ヲ指示セサルモノアリ依テ其ノ實行方更ニ督勵相煩度旨ニ付通牒セリ

十月七日死體檢案事務ニ付成績調査ノ結果著シク不良ナル成績ニ付綾部、福知山、舞鶴、新舞
鶴宮津署長宛通牒セリ

十月十六日府令第一〇一號ヲ以テ十月十七日限り「コレラ」豫防ニ關スル府令第九七號廢止ノ
旨公布シタリ右ニ關シ管外官署へ報告通告セリ

十月七日、八日大禮使車馬部土岐事務官一行ト打合會衛生課長各係長出席

十月二十二日水道水源池警備計劃打合會

京都市ノ水道水源池警備ニ付市ヨリ保健部長電氣局長等來應警察部長室ニ於テ各課長列席打
合會ヲ開催

十月二十七日大饗第一日第二日ノ儀御用料理人ニ關スル件

大饗第一日第二日ノ儀ニ際シ御用料理御下令ノ貴管下ニ於ケル中央亭精養軒東洋亭ニ對シ健
康視察其他ノ狀況至急御回報煩度旨警視總監宛照會セリ

十一月二十七日京都府令第一一一號ヲ以テ十一月三十日限り左記ノ諸府令ヲ廢止スル旨公布セ
リ

精神病者監護ニ關スル事項

- 一、昭和三年京都府令第四二號痘瘡豫防ニ關スル件
- 一、昭和三年京都府令第五二號死體檢案ニ關スル件
- 一、昭和三年京都府令第六八號臨時種痘ヲ受クル件
- 一、昭和三年京都府令第八六號流行性感胃其ノ他ノ患者ヲ診斷シ又ハ其ノ死體ヲ檢案シタル場合ノ届出方ノ件
- 同日京都府訓令第三八號ヲ以テ左ノ訓令ハ十一月三十日限り之ヲ廢止スル旨公布セリ
- 一、昭和三年京都府訓令第一七號死體檢案ニ關スル取扱方ノ件
- 八月六日精神病者取締ニ付關係各署長及病院代理者ト協議會開催ス
- 八月七日精神病院收容力調査ノ件關係各署長へ通牒セリ調査ノ結果五病院最大收容餘力三二三名ト判明ス
- 他府縣ニテ許可ヲ受ケ府下精神病院ニ入院中ノ患者調査ノ結果ハ兵庫縣外二府十八縣一四一名ト判明ス
- 入院監置及私宅監置ノ精神病者調査並ニ各監護義務者ノ資産ノ程度調査方ノ件各署長へ通牒ス調査ノ結果入院監置三七二名私宅監置八六名中資産乏シキモノ七三名八月十五日監置ノ必要アル精神病者調査方ノ件關係署長へ通牒調査ノ結果監置ノ必要アル者一七三名公費ヲ以テ監置スル要アルモノ九八名
- 九月一日兵庫外二府十八縣ニ對シ其ノ府縣ニテ許可ヲ受ケ府下精神病院ニ入院中ノ患者ニシテ未治輕快ノ儘監置廢止セントスル場合ノ處置ニ付照會
- 九月三日監置廢止セントスル精神病者ニシテ未治ノモノハ監置ヲ廢止セシメサル様各署長へ通牒ス當府許可他府縣ノ精神病院ニ入院中ノ患者ノ監護義務者ニ對スル大禮期間中監置廢止セシメサル様各署長ヨリ諭示セシム
- 九月十四日監置ヲ廢止セントスル精神病者取締ニ關シ關係警察署及各病院宛十月一日ヨリ協定

事項實施ノ通牒ヲ發ス

- 九月十五日京都腦病院ニ公費委託患者收容スルコトヲ指定ス
- 九月七日ヨリ精神病院私宅監置室視察ヲ開始私宅監置精神病者實狀調査
- 十月廿六日ヲ以テ全部終了視察ノ結果ニ付各々適當ナル措置ヲ命シタリ
- 九月二十八日府下各署長ニ對シ彙ニ調査シタル監置ノ必要アル患者一七三名ノ措置ニ關シ十月二十日迄ニ監置ノ手續ヲ了スル様ニ通牒セリ十月末現在ニ於テハ豫定ノ通り措置ヲ了セリ
- 十月三十日大阪府下十月三十一日兵庫縣下ノ主要ナル精神病院ヲ視察シ各病院長ニ對シ大禮期間中患者逃走セシムルコトナキ等ナキ様監護上特ニ注意ヲ依頼ス
- 十一月三日精神病者取締ニ關スル件通牒
- 警視總監並各道府縣長官宛未治又ハ輕快ノ儘ニテ廢監置退院スル者ノ中ニハ暴行其ノ他危激ナル行動ニ出ツル者抄カラス大禮御舉行ノ期間中如斯者ノ徘徊ヲ防クタメ之等ヲ調査シ監護義務者ニ繼續監置スヘキヤウ諭示シ又ハ監置ヲ命シ若クハ代用精神病院ニ入院セシムル等ノ方途ニ出ツルコトトシ之カ取扱トシテ監置廢止ノタメ診斷書作製方申出タル時ハ病院長ヨリ所轄警察署ニ申告セシメ當府醫師立會ノ下ニ診斷スヘキヤウ協定シ以テ取締ノ目的ノ達成ヲ期スルコトト相定メ且ツ他府縣ニ於テ許可ヲ受ケ府下精神病院ニ入院セル者ニ對シテハ關係各府縣ニ照會シ十月一日ヨリ之ヲ實施致シオルニツキ取締上參考ノタメ通報セリ
- 十一月二十三日精神病者警戒ニ關シ警告

岩倉、川趣兩精神病院、府立醫大附屬醫院花園分院、京都腦病院各院長宛

天皇陛下ニハ本日京都へ御還幸アラセラルニ二十六日東京へ御還幸遊ハサ、ル迄ハ毎日各所へ行幸アラセラル、ヲ以テ特ニ患者ノ警戒取締ヲ嚴ニシ逃走其ノ他ノ事故ナキ様留意相成度旨警告セリ

癡患者及行旅病人

九月十七日京都市長ニ對シ癡患者一時救護所ノ設備其ノ他ニ關シ注意ヲ促ス爲ニ通牒ヲ發ス

ニ關スル事項
物品調度保管ニ關スル事項
大禮關係豫算經理ニ關スル事項

九月二十三日市部及伏見署部内一齊ニ癩患者取締ヲ實施ス松原署管内ニテ三名ヲ救護シタルノ
十月三十日浮浪癩患者一齊取締ニ關スル件通牒市内伏見署長ニ對シ十一月一日ヲ期シ一齊取締
ヲ施行スヘキ様通牒セリ
九月十二日大禮期間中内務省ヨリ出張ノ衛生局事務室及衛生局長室ノ調度ニ付庶務課長會計課
長ト共ニ協議ス
防疫職員定員増加
三月十六日付ニテ豫テ申請中ナリシ防疫監吏定員五十五名防疫醫定員三十三名ニ増加ノ件許可
アリ昭和三年四月一日以降之ヲ實施ス
大禮費豫算確定
府費ニ於テ八萬二千百圓要求ノ處三月二十六日四萬二千圓ニ削除可決
國費ニ於テハ昭和二年九月十日十七萬九千圓要求ノ處六月八日八萬圓ヲ内務省ヨリ受領ス
家畜防疫職員増加
四月一日ヨリ大禮家畜傳染病豫防ノ爲臨時獸醫十名増員配置セリ

府大禮衛生費 昭和四年二月末日現在

科 目	豫 算 額	支 出 額
大禮施設費	五四、四八六、〇〇〇	四八、二一六、二三〇
大禮施設費	五四、四八六、〇〇〇	四八、二一六、二三〇
衛生費	五四、四八六、〇〇〇	四八、二一六、二三〇
傳染病豫防費	四、三五〇、〇〇〇	三、五三三、五四〇
癩豫防費	二、四八四、〇〇〇	二五〇、五五〇
家畜傳染病豫防費	三、六六七、〇〇〇	三、四四六、七四〇
狂水病豫防費	三八一、〇〇〇	三五〇、九四〇
精神病者監護費	三九、九九一、〇〇〇	三七、九八六、〇〇〇
保健衛生費	九三二、〇〇〇	八七七、七九〇
工場衛生費	二、六八〇、〇〇〇	一、七七〇、六七〇

(3) 大 阪 府

御大禮ニ關スル衛生施設事項

御大禮ニ關スル衛生施設事項ハ内務省ノ通牒ニ準據シ之ヲ各警察署長ニ通達スルト共ニ各署衛生事務主任者ヲ警察部ニ召集シ
實施方法ニ關シ精密指示スル所アリ而シテ市區町村長ニ對シテハ市區町村長會議ニ際シ右施設事項ノ實施ニ關シ警察署長ト協
カシ細心實施ニ努メ國家ノ盛儀ニ對シ秋毫ノ支障ヲ醸サランコトヲ示シテ之ヲ激勵スル所アリシカ各警察署長ハ此旨ヲ體シ
直ニ專務員ヲ増加シテ取締ニ從事シ又ハ日ヲ定メノ特別勵行ヲ爲シ或ハ派出所、駐在所員ヲシテ特ニ取締ヲ爲サシムル等々
トシテ其ノ實ヲ舉ケ又一面ニハ衛生上取締ヲ要スル營業者又ハ組合長ヲ警察署ニ招致シテ營業上心得ヘキ事項ヲ指示シテ之カ
實行ヲ獎勵スル所アリタルハ各組合ハ舉テ印刷物ヲ配布シテ大ニ注意ヲ喚起シ且組合長ハ視察ヲ周到ニシテ實行ノ徹底ヲ期シ

タリ、而シテ一面衛生組合青年團其ノ他ノ團體ニ協力ヲ求メ講演ニ路傍演説ニ活動寫眞ニ大ニ大衆ノ注意ヲ惹キ又別ニ「パンフレット」ヲ配布シテ之カ宣傳ニ努ムル等各方面ハ緊張裡ニ活動ヲ續ケタルト一面府民奉公ノ至誠ニ依リ曠古ノ盛儀ニ些ノ支障ヲ醸ササリシハ欣快トスル所ナリ、以上ノ方針計劃ニ基キ實施シタル概況以下記載スル所ノ如シ

一 飲料水ニ關スル件

上水道ノ未ダ普及セサル大阪市ノ周圍部及郡部ニ對シテハ常ニ飲料水ノ取締ニ留意シ御大禮ニ關シテハ時々檢水ヲ施行スルト共ニ成績不良ノモノニ對シテハ使用ヲ制限シ井戸側流シ場ノ如キ附屬設置物破損シテ汚水滲透ノ虞アルモノニ對シテハ之カ修理改善ヲ促カシ雨水悪水ノ井中ニ點滴スルモノニ對シテハ覆蓋ヲ設置セシメ又ハ唧筒ノ裝置ヲ爲サシムル等々取締ノ實ヲ擧ケシカ郡部寢屋川支流及恩智川(主トシテ北河内郡及中河内郡ノ一部)沿岸ノ住民ハ古來河水ヲ使用スルノ慣習アルヲ以テ之ニ對シテハ此機會ニ於テ河水使用ノ危険ナルコトヲ諭示シ漸次之ヲ改メシメ其他井戸ヲ新設シ井戸浚ヲ獎勵シ瀘過裝置ヲ勸奨スル外井戸改良ニ關シ講演會ヲ開キ浪花節ヲ利用シテ智識ノ啓發ニ努ムル所アリタルヲ以テ漸次改良ノ域ニ進ミツ、アリ今飲料水ニ關シ各署ニ於テ取締ヲ爲シタル成績ヲ擧クレハ左ノ如シ

- 一 不良水ノ使用方法ニ改善ヲ加エタル件數 二、一九五件
- 一 共同井戸ニ對シ井戸側流シ場ニ改善ヲ加エタル件數 一、一〇〇件
- 一 堀井戸ニ唧筒ヲ据付ケタル件數 三四九件
- 一 衛生取締ヲ要スル諸營業者ニ水道水使用ヲ實用セシメタル件數 一〇六件
- 一 水道栓ヲ増設セシメタル件數 一七三件

因ニ大阪市ニ於ケル上水道送水能力ハ一日二百十萬石給水栓二十六萬餘個給水戸數三十九萬七千戸ニ達セルモ新編入區域ハ尙普及セサル場所多々アリ爲ニ昭和元年二年度ニ於テ工費百三十五萬圓ヲ以テ鐵管ヲ敷設スルコト、シ目下工事中ニ在リ而シテ其水質ニ付テハ市立衛生試驗所ニ於テ一週三回化學的細菌學的検査ヲ行ヒツ、アリ

二 清潔保持ニ關スル件

清潔保持ハ衛生上風致上至大ノ關係ヲ有スルハ素ヨリ論ヲ待タサル所ナルヲ以テ平素ニ於テ極メテ嚴重ニ取締ヲ施行スル所ナリ殊ニ本年ハ御大禮ノ關係ヲ考慮シ夏期清潔方法施行ニ際シテハ一層ノ注意ヲ拂ヒ其徹底ヲ期シタリ就中大阪市ノ如キ縱横ニ河川ノ貫流スル都市ニ在リテハ此等ニ塵芥汚物ヲ投棄スル者少ナシトセサレハ特ニ注意取締ヲ行ヒタル外街路ニ沿フタル下水溝渠ノ浚深ハ市又ハ衛生組合ヲシテ之ヲ行ハシメ其側壁ノ破損セルモノハ之カ修繕ヲ行ハシメタリ又街路ノ撒水ハ衛生組合又ハ他ノ團體ヲシテ之ヲ行ハシメ全市遺漏ナキヲ得電車線路及電車内ノ撒水ハ市ヲシテ之ヲ勵行セシムルト共ニ何レモ水道水ヲ使用セシメ更ニ定期大掃除ノ外浸水地域及低級集落地域ニ對シテハ臨時清潔方法ヲ施行セシメタル外道路橋梁等ノ義務者ナキ場所ハ市ヲシテ遺漏ナキヲ期セシメ空地其他不潔ニ陥リ易キ場所ニ對シテハ塵芥投棄禁止ノ榜示ヲ立ツル外義務者ヲシテ板圍ヲ爲サシメ又ハ衛生組合ヲシテ之ヲ整理セシメ路面ヲ汚カス牛馬糞ノ如キハ義務者ノ判明スル限リ掃除ヲ強制スル外衛生組合ヲ勸誘シテ之ヲ取除カシメ又禽畜飼養場又ハ厩舎ノ如キ集團ニ對シテハ汚物ノ搬出ヲ勵行セシメ夏期ニ於ケル蠅ノ發生ヲ防止スル爲徹底的ニ石油乳劑ヲ撒布セシムル外防臭設備ヲ厲行スル等凡ソ衛生上必要ト認ムル事項ニ對シテハ極力實績ヲ擧クルコトニ注意シタリ其成績左ノ如シ

- 一 下水溝渠ノ側壁ヲ修理シタル件數 二、一一六件
- 一 臨時清潔方法ヲ行ヒタル戸數 二、三〇九件
- 一 河川溝渠等ニ塵芥投棄ヲ取締タル件數 六、〇四一件
- 一 溝渠下水ノ浚深ヲ爲サシメタル件數 一、五一二件

夏期清潔方法ノ施行ハ七月十一日ヲ以テ開始シ府下全般ニ涉リ日割ヲ定メ左記方法ヲ示シテ之ヲ施行シ九月末日ヲ以テ結了シタリ其實施戸數左ノ如シ

方法

- 一 午前七時ヨリ午後三時迄ニ行フコト
- 二 實地及家屋ノ内外ヲ掃除スルコト

- 三各室ハ戸又ハ障子ヲ開放シ採光換氣ヲ充分ニスルコト
- 四塵敷物寝具其他家財ハ屋根其他可成日光ノ直射スル場所ニ搬出シ乾曝スルコト
- 五床下ハ通風ヲ良クシ甚シク濕潤スル場所ニハ乾土類ヲ撒布スルコト
- 六宅地内ニテ汚水停溜シ又ハ濕潤甚シキ場所ハ之ヲ埋メ又ハ排水ヲ充分ニスルコト
- 七家財ヲ道路ニ搬出スル場合ハ左ノ標準ニ依ルコト
 - イ一般道路ニテハ其中央部ニ約一メートルノ余地ヲ存スルコト
 - ロ電車軌道ニ沿ヒタル道路ニテハ軌道敷石ノ外端ヨリ一五メートルノ距離ヲ存スルコト
 - ハ蚤ヲ少クスル爲床ト疊下ノ間ニ新聞紙ヲ敷クコト
- 九係員ノ検査ヲ終ル迄掃除シタル現状ヲ保持スルコト
 - 一〇當該施行濟證ハ門戸見易キ場所ニ貼付スルコト
 - 一一前記ノ外係員ニ於テ必要ヲ認メ特ニ指示スル事項ヲ行フコト

塵芥ハ必ス正午迄ニ係員指示ノ場所ニ持出スコト

施行戸數左ノ如シ

大	阪	市	四七九、九五一戸	
堺	市	二七、三七九戸		
岸	和	田	市	一九、八九二戸
郡	部	二〇五、七一六戸		
計	七三二、九三八戸			

大阪市ニ於ケル下水道及溝渠ノ浚渫狀況

大阪市ニ於ケル私設ノ溝渠ヨリ排除スル汚泥ハ各戸ヲシテ市長指定ノ場所ニ設ケタル汚泥函ニ蒐集セシムル定メナルヲ以テ各

町ニ於テハ組合ヲ設ケ便宜上人夫ヲ雇フテ之ヲ蒐集セシメタリシカ衛生組合設置後ハ専ラ同組合ニ依テ行ハレ各組合ハ掃除夫ヲ特置シ相當ノ設備ヲ以テ蒐集ニ從事シツ、アリ

汚泥函ノ配置數ハ六十三箇所ニシテ之ニ蒐集セラレタル汚泥ハ日々市ノ直備人夫ヲシテ運漕船ニ依リ沼池等ノ埋立用ニ供セリ其量一ケ年八百萬貫之ニ要スル運漕船ハ四十隻ニ及フ

大阪市ノ溝渠ハ大部分下水道ニ改良セラレ今尙旺ンニ工事中ナリ而シテ之カ浚渫ヲ要スルモノハ下水道及未改良溝用悪水路等ノ延長四十四萬六千間會所、マンホール、集水口等ノ數二十二萬七千個未改良溝用悪水路等ノ面積二十萬八千坪ヲ算シ汚泥排出量ハ二千三百三十三萬貫(一萬三千三百餘坪)ニ達セリ而シテ之カ浚渫作業ハ市内ヲ四浚渫區ニ別チ定期浚渫ヲ行ヒ又別ニ特別浚渫區ヲ設ケテ臨時ノ浚渫ヲ爲ス定期浚渫ハ舊市域ニ於テハ毎月一回新市域ニ於テハ年三回之ヲ行ヒ臨時浚渫ハ新市域方面ノ用悪水路其他特別ニ故障停滯ヲ來タセル箇所ニ對シ之ヲ行フ而シテ之ニ依テ排出シタル汚泥ハ主トシテ沼池又ハ低濕地ノ埋立用トシテ之カ運搬ニハ汚泥車六十五輛汚泥船四十艘ヲ使用セリ

三 塵芥處分ニ關スル件

大阪市内ニ於テ各戸ヨリ排出スル塵芥ハ一ケ年總量實ニ七千九百萬貫ニシテ一日平均二十一萬貫ニ達セリ而シテ之カ蒐集搬出ハ各戸ニ於テハ汚物掃除法ノ規定ニ依ル塵芥容器ヲ備ヘ之ニ蒐集シ市ハ該容器ノ塵芥ヲ排除シテ之ヲ處分スルモノニシテ其排除ハ人家ノ粗密ニ依リ必スシモ一定セス或ハ毎日又ハ五日目(大部分ハ三日目)毎ニ直備人夫ヲシテ有蓋荷車ニ依リ排除運搬セラル運搬車ニ積込ミタル塵芥ハ一部ハ直ニ處分地ニ運搬シ他ハ一旦塵芥積出場ニ運搬シ舟運ノ便ニ依リテ處分地ニ運送セラル塵芥積出場ハ市内(舊市)ニ二十八箇所アリ何レモ河岸地ニ設ケ棧橋式ト稱シ運搬車ヨリ直接運漕船内ニ移スコトヲ得ル方式ヲ以テス此方式ニ依リ難キモノハ蒐集場ヲ建設シ塵芥ノ散亂ヲ防キ防臭防蠅ノ設備ト且停滯セサル様搬出ヲ爲シツ、アリ

塵芥處分 從來其大部分ハ築港埋立ニ利用シ一部ハ肥料トシテ農家ニ交付セシカ埋立工事ノ進捗ニ伴ヒ投棄困難トナリシ結果之ヲ焼却スルノ案ヲ立テ明治三十六年木津川尻ニ次テ明治四十年市外長柄ニ燒却場ヲ設置セシカ後之ヲ廢シ大正五年更ニ木津川尻ニ燒却場ヲ新設シ之ヲ木津川燒却場ト稱セリ本燒却場ニハ燒却爐自然通風式一八爐強壓通風式一六爐ヲ有シ燒却能力一日

約十萬貫ナリ他ノ一ハ今宮塵芥焼却場ニシテ舊西成郡今宮町ノ設營ニ係ルヲ市域擴張ニ際シ編入引繼ヲ受ケタルモノニシテ強
壓通風式火爐六個ヲ備ヘ一日約一萬貫ノ焼却能力ヲ有ス

以上二箇所ノ焼却場ニ於ケル一日焼却能力ハ約十一萬貫ニシテ之ヲ現在一日ノ排出量ニ比スレハ其處分量ハ二分ノ一ニシテ尙
及ハサルコト遠ケレハ市ハ更ニ加熱送風式八爐強壓送風式八爐ヲ木津川焼却場ニ増設セントシ目下當府ニ出願中ニ在ル外東成
區放出町ニ更ニ焼却場ヲ新設セントシ目下設計中ニ在リ右完成ノ上ハ全市塵芥ハ之ニ依テ完全ニ處分シ得ト雖目下ニ在リテハ
右焼却ノ外陸上無害地投棄、海中投棄及廣島地方へ賣却又ハ府民ニ無償交付ヲ爲シテ辛フシテ全塵芥ノ處分ヲ爲シツ、アリ
堺市、岸和田市ニ在リテハ汚物掃除法ノ規定ニ基キ監視吏員ヲ置キテ排除ヲ監視シ塵芥ハ之ヲ市外ニ搬出シテ埋立ノ用ニ供シ
豊能郡豊中町ニ在リテハ焼却場ヲ有シ之ヲ處分シ其ノ他ノ町村ニ在リテハ常備人夫ヲシテ搬出焼却セシメ又ハ衛生組合ヲシテ
排除ヲ爲サシメ農業地區ニ在リテハ總テ堆肥土トシテ處分ス

府下ニ於ケル塵芥處分ハ以上概記スル所ノ如シ而シテ御大禮ニ對スル施設トシテハ戸口稠密ノ聚落ニ於テハ往々塵芥ノ堆積ヲ
免カレサルヲ以テ之ニ對シテハ市町村當局ニ對シ排除ノ回数ヲ増加セシメ又ハ組合ヲ督勵シテ排除ノ周到ヲ期セシメ一面塵芥
積出場所ニ對シテハ取扱中多量ノ塵芥ヲ河川内ニ墜落セシメ又ハ甚シク粉塵ヲ飛散セシメ又ハ運搬中船夫カ故ラニ塵芥ヲ河川ニ
投棄スルモノアルヲ以テ之ニ對シ適當ノ取締ヲ講スル外各戸ニ對シテハ容器ノ備付ケヲ怠ルモノハ之ヲ設備セシメ又ハ修理ヲ
強制スル等凡ソ法規ノ命スル所ハ遺漏ナク取締ヲ爲シタリ其成績左ノ如シ

- 一新タニ塵芥容器ヲ備付ケセシメタル件數 一三、三三三件
- 一塵芥容器ヲ修理セシメタル件數 八九、八三五件
- 一塵芥出搬出ノ回数ヲ増加セシメタル件數 五七九件

四 屎尿處分ニ關スル件

大阪ニ於ケル各戸ノ屎尿ハ古來農民トノ間ニ直接汲取ノ契約ヲ爲シ農民ハ每年末若干ノ糯米又ハ野菜等ヲ交付シテ無料汲取ヲ
爲スモノ、外市内屎尿營業者カ若干ノ代價ヲ提供シテ汲取契約ヲ爲シ此間極メテ圓滿ニ何等ノ紛議ヲ醸スコトナカリシカ市及

接續町村ニ於テ人口漸次増加シ屎尿ノ排出從テ増量シ生肥トシテノ供給過剩ヲ招キ一面近郊ニ於ケル農耕地ノ減少ハ一層屎尿
ノ需用ヲ減退セシムルニ至リシカハ從來ノ汲取習慣ニ變革ヲ來タシ反テ相當料金ヲ支拂フニアラサレハ之ヲ汲取ラサルノ實況
トナリ益屎尿ノ停滯ヲ甚シカラシメ一日モ早ク適當ノ處分方法ヲ決定スル必要ニ迫リタル折柄偶々大正六年北攝地方一帯ノ水
害ニ依リ屎尿ノ需用全ク杜絶シタル爲大阪市内ハ忽チ大停滯ヲ來タシ衛生上憂慮スヘキ状態ニ陥リシヲ以テ市ハ一定ノ期間ヲ
定メ無料汲取ヲ斷行シ汲取者ニハ相當賃金ヲ支拂ヒ該屎尿ハ汲取者ニ於テ隨意處分セシムルカ如キ應急處置ヲ講セシカ其後退
水シテ平常ニ復セシモ汲取状態ハ依然トシテ舊ニ復セス到ル處停滯ヲ訴ヘ市民衛生上默過スヘカラサルニ至リタル爲大正九年
九月屎尿處分市營調査會ヲ開キ先ツ停滯ニ苦ムモノ、要求ニ應シ有料汲取ヲ施行シ汲取リタル屎尿ハ加工其他適宜ノ處分ヲ爲
サンコトヲ提議シテ之ヲ可決シ次テ市會ニ於テ該事業案及之ニ關聯スル豫算案ヲ可決シタルヲ以テ大正十年六月汲取ヲ開始シ
以テ今日ニ及ヘリ

汲取ノ方法 汲取ヲ望ムモノ、申込ニ依リ一荷十錢ヲ以テ之ヲ汲取リ所定ノ場所ニ搬出ス容器ハ樽詰トシ臭氣ノ發散ヲ防ク爲
密栓ヲ施シ之ヲ運搬シ河中ニ碇繋セル運漕船ニ搬入スルモノニシテ之ヲ遠ク徳島和歌山縣地方ニ送付スル外大部分ハ京都府下
ニ販路ヲ有メル仲買業者ニ月額三百七十五圓ヲ以テ之ヲ交付シ目下ノ處支障ナク行ハレツ、アル實況ニシテ大正十五年中ニ汲
取リタル荷數ハ屎尿ヲ合ハセテ八十一萬二千八百餘荷汲取戸口延二十七萬五千餘戸ニ達セリ

汲取區域 北區一圓、東淀川區ノ内元豐崎町全部此花區ノ内六軒家川以東、西區一圓、港區ノ内境川運河以北及永樂橋筋以北
東區、南區、天王寺區、浪花區各一圓ニシテ此區域内ニ於ケル希望者ノ申込ニ依リ臨時ニ之ヲ汲取ルモノナレハ其戸數ハ一定
セス而シテ其汲取回数ハ一月二回位ニシテ之ニ要スル人夫ハ常備七十二人臨時三十二人ヲ以テ之ニ從事セシム

以上ノ汲取事務ヲ處理スル爲市ハ岩崎、高麗橋、瓦屋町玉江橋ノ四箇所ニ保健部出張所ヲ設ケ一切ノ事務ヲ處理シツ、アリ
以上ノ外大阪市ノ汲取地域外ニ屬スル汲取リハ有料ヲ以テ汲取業者ニ托シ又ハ衛生組合ノ事業トシテ汲取ヲ爲シツ、アリ之ニ
對スル御大禮ノ施設トシテハ各汲取業者ヲ警察署ニ招致シテ汲取ヲ勵行シ停滯セシメサルト共ニ其運搬時限等ヲ誤ルナカラシ
コトヲ諭示シ且衛生組合ヲシテ時々石灰末ノ撒布ヲ爲サシメタリ

公共便所 大阪市内ニ於ケル市設ノ公共便所ハ二百七箇所ニシテ内大便所ヲ併置セルモノ六十一箇所(内三箇所ハ淨化装置)小便所ノミノモノ百四十六箇所ナリ而シテ其位置ハ市勢ノ發達ニ伴ヒ自然不適當トナルモノ又ハ増設ヲ要スルモノモ少ナシトセサレハ此等ニ對シテハ市當局ニ知照シテ撤廢又ハ増設ヲ促シ設備不完全又ハ修理ヲ要スルモノハ之ヲ改良セシメツ、アリ爲ニ近來新設セラル、便所ハ煉瓦造モールタル途ノ近世式ニシテ外觀内容共ニ見ルヘキモノ少ナカラス之ニ對スル掃除ハ市ハ常備人夫ヲ遣キ自轉車ヲ利用シテ一日多キハ七八回少ナキモ二回ノ掃除ヲ行ハシメ以テ清潔ヲ保持シ夏期及傳染病流行時ニ在リテハ生石灰ヲ以テ一日一回消毒ヲ行フ其汲取リハ汲取業ト契約シ料金ヲ支拂ヒ毎早朝之ヲ汲取ラシメ遺憾ナキヲ期セリ

其ノ他劇場、寄席、活動寫眞館、市場其他多衆ノ集合ヲ目的トスル營業者ノ設置セル共同便所ニ對シテハ御大禮ノ爲特ニ臨監ノ警察官吏又ハ專務員ヲ督勵シテ掃除、汲取及消毒方法、手洗裝置等ノ取締ヲ勵行シテ遺憾ナキヲ期シタリ

水漕便所 水漕便所ヲ設置スル者千六百六十四箇ノ多キニ達シ尙續々トシテ出願ノ狀況ナリ之ニ對スル取締ハ平素警察署ヲシテ之ニ當ラシメ又時々建築課員ヲ派遣シテ設備ノ適否消毒ノ有無ヲ検査セシムル所ナルモ憾ムラクハ設置者ハ水漕便所ノ效用ヲ解セス單ニ放流スルコトヲ以テ能事了レリト爲シ設備ノ如キハ措テ願ミス爲ニ濫ニ雜用水ヲ槽内ニ充滿セシメ又ハ塵芥ヲ投入シ甚シキハ消毒ヲ爲スヲ知ラサル向少ナカラス之カ爲ニ水漕便所ノ效用ヲ没却シ反テ衛生上危害ヲ招ク虞ナシトセサレハ本年六月建築課ニ於テ左記事項ノ印刷物ヲ各設置者ニ配付シテ注意ヲ喚起スルト共ニ之カ取締ヲ勵行シタリ

- 一 淨化槽上部ニ物置其他ノ建物ヲ建設セサルコト
- 二 マンホールノ蓋ハ開閉ヲ自由ナラシムルコト
- 三 用便時ノ用紙ハ卷洋紙ヲ用ユルコト
- 四 塵芥其他ノ異物ヲ投入セサルコト
- 五 送氣孔ヲ閉塞セサルコト
- 六 排氣管ハ常ニ有效ニ保持スルコト
- 七 給水ヲ完全ニスルコト

八 消毒方法ヲ完全ニ持續スルコト

- 九 排水管ニ故障ナキ様注意スルコト
- 十 自動排水唧筒ニ故障ナキ様注意スルコト
- 十一 槽内ハ少ナクトモ一年一回掃除ヲ行フコト
- 十二 臭氣漏出ノ場合ハ何レカモ故障ヲ生シタル徵候ナレハ槽内ハ勿論附屬器具ニ至ル迄調査シ破損又ハ不正ノ廉ハ直ニ修理スルコト

上記記載スル所ニ依リ取締ヲ爲シタル成績左ノ如シ

- 一 共同便所ノ改造又ハ修理ヲ爲サシメタル件數 一〇三件
- 二 共同便所ノ消毒方法及掃除ヲ勵行シタル件數 八〇一件
- 三 共同便所ノ汲取ヲ勵行シタル件數 六五一件
- 四 各戸便所ノ汲取ヲ勵行シタル件數 二、九八〇件

水漕便所ニ關スル取締狀況左ノ如シ

- 一 異狀ナキモノ 二六
- 二 酸化槽不完全ノモノ 二
- 三 給水ニ關スル不完全ノモノ 二二
- 四 消毒藥槽不完全ノモノ 一七
- 五 淨化槽上ヲ他ニ使用スルモノ 六
- 六 消毒藥槽ナキモノ 三〇
- 七 マンホール不完全ノモノ 一七
- 八 消毒藥ヲ使用セサルモノ 二〇〇
- 九 排便排氣汚水排水不完全ノモノ 四四
- 十 ポンプ不完全ノモノ 三一
- 十一 送氣不完全ノモノ 二二
- 十二 其 他 三七
- 十三 撤水樋不完全ノモノ 二二
- 十四 計 四七六

警察署ニ於テ取締ヲ爲シタル成績

汚水	浄化汚水清クシテ異臭ナキモノ	六八五
	浄化汚水清カラヌ幾分臭氣アルモノ	一〇一
	浄化汚水混濁臭氣甚シキモノ	二八
消毒藥槽	消毒藥槽ヲ設置シ完全ナルモノ	七六一
	消毒藥槽ヲ設置セルモ破損其他ニ依リ不完全ナリト思料スルモノ	八二
	消毒藥槽ノ設置ナキモノ	五二
消毒藥	消毒藥ヲ適度ニ使用セルモノ	五四一
	消毒藥ヲ使用セルモ不充分ナルモノ	二〇八
	消毒藥ヲ全然使用セサルモノ	一一五
排水	完全ナルモノ	七三三
	閉塞セサルモ完全ナラヌト思料スルモノ	六九
	閉塞シ故障アルモノ	二一
酸化槽	撒化樋曲折セス通水均一ニシテ完全ナルモノ	三五
	撒水樋ヲ曲折シ通水均一ナラヌ不完全ナルモノ	三五
送氣孔	閉塞セス完全ナルモノ	七一〇
	閉塞セルモノ	六二
	完全ナルモノ	二八九
	被損等ヲ生シ故障ノ爲汚水消毒槽内ニ充滿シ酸化槽へ送氣不完全ナルモノ	二一

五 飲食物取締ニ關スル件

飲食物ハ直接ニ人ノ口唇ニ觸ル、モノナレハ其製造販賣ニ關シテハ特ニ嚴密ナル取締ヲ要スルハ素ヨリ論ヲ俟タス就中清涼飲料水、酒、酢、醬油其他酒精含有ノ飲料ヲ首メトシ菓子、罐詰、蒲鉾、其他有ユル飲食物並陶磁器、珐瑯、鐵器ノ飲食物用器具及玩具、化粧品類ノ如キ其ノ製造販賣ニ至リテハ獨大阪市内ノ需用供給ニ止マラスシテ廣ク販路ヲ他府縣ニ及ホスヲ以テ當府ニ於ケル取締ノ寬嚴ハ直ニ當該府縣ノ取締ニ直接影響ヲ及ホシ其波及スル所極メテ大ナルモノアレハ當府ニ於テハ平素此點ニ留意シ常ニ周到ノ取締ヲ爲シ遺憾ナキヲ期スル所ナルモ御大禮ニ際シ民心ノ歡喜興奮ニ乘シ奸商輩カ不正品ヲ製造販賣シ又ハ不潔ノ物資ヲ供給シ或ハ際物的ノ製品ヲ製造販賣スル等ノコトアラン乎之カ爲ニ不測ノ事項ヲ惹起スルコトアリテハ曠古ノ盛儀ニ對シ遺憾不少ヲ以テ特ニ取締機關嚴勵シテ之ニ方ラシメ視察臨檢ヲ勵行シ又時ニ必要ト認ムル物資ヲ收去シテ試驗ヲ行ヒ或ハ器具ニ對シ檢査ヲ行フ等萬遺策ナキヲ期シタリ今之カ取締ニ關シ主要ナルモノニ就キ其狀況ヲ記載スレハ概ネ左ノ如シ

イ屠場、屠畜及輸入肉並獸肉販賣店ノ取締

本項取締ニ付テハ左ノ係員ヲ定メ各警察署ト協力シテ取締ヲ實施シタリ

- 市部
- 一 乳肉係主任技師 一名 副主任技師 一名
- 一 屠場及屠畜係 四名
- 一 輸入肉係 一名 (屠場及屠畜係ニテ兼務)
- 一 牛乳搾取場係 六名 (前二項ノ係員ニ於テ兼務)
- 一 牛乳檢査係 一名 (屠場屠畜係ニ於テ兼務)
- 一 牛乳販賣店及獸肉販賣店係 四名 (獸檢係ヨリ應投)
- 郡部
- 一 屠場、屠畜、牛乳搾取場牛乳搾査及乳販賣店係 七名 (郡部駐在員ヲ以テ充ツ)

屠場 府下ニ於ケル屠場ハ公私ヲ合ハセテ九ヶ所ナリ之ニ對シテハ從來大阪府屠場タル木津川、今宮ニハ檢査員各一名

日平均百五十石冬期ニ在リテハ百石ヲ産シ一ケ年平均一日ノ生産量ハ百三十石内外ニシテ此外兵庫、香川、和歌山、岡山
奈良ノ各縣ヨリ移入スルモノ一日約十石ニ及ヘリ

牛乳ノ検査ハ比重及脂肪含有量ノ成績ノミヲ以テ其良否ヲ決定スル如キハ未タ以テ牛乳衛生ノ要旨ヲ完フセルモノト謂フ
ヲ得ス宜シク其淵源ニ遡リ乳牛ノ健康飼料飲水ノ良否畜舎ノ構造設備、搾取、濾過、冷却、殺菌ノ適否從業者ノ健康及服
装ノ清否容器及量器ノ衛生的適否ヲ検査シ不正不適ノ行爲及其材料ヲ矯正シ以テ保健衛生ノ完璧ヲ期セサルヘカラス當府
ニ於テハ平素愛ニ意ヲ注キ特ニ御大禮ニ際シテハ一層之ヲ勵行シテ遺策ナキヲ期シタリ

畜舎ノ衛生狀態保持ハ取締上難事トスル所ナリ而カモ彼等ノ多クハ濫ニ採算ノ上ニ趨リ公衆衛生ニ對スル責任ヲ自覺セス
其夏期牛乳需用増加ノ季節ニハ規定ヲ無視シテ隔離室内ニ健牛ヲ繋留シ又ハ認可ヲ受ケスシテ牛舎ヲ増設シ牛糞汚物ヲ堆
積シ牛舎内ヲ不潔ノ儘放任シ防蠅設備並搾乳上ノ規定ヲ等閑ニ附スル等ノ違反事項少ナカラス之等ニ對シテハ平素視察ヲ
嚴ニシ或ハ處分シ或ハ戒飭ヲ加ヘ又ハ畜牛結核検査ノ機會ヲ利用シテ指導督勵ニ努ムル所アリタルハ漸次改善ノ實績ヲ舉
ケツ、アリ然レトモ都市ノ發展ニ伴ヒ搾乳場ノ周圍ハ人家稠密トナリ位置不適當トナリタルノミナラス蚊蠅飛散シ臭氣近
隣ニ及フモノ又ハ腐朽シテ改造ヲ要スヘキモノ二三ナキニアラサルモ此等ハ經營上速ニ實現スル能ハサルヲ遺憾トス其視
察成績左ノ如シ

- 一 臨檢度數 一一二五
- 一 場内清潔ニ關スルモノ 否適 九〇六件
- 一 汚物汚水排除ニ關スルモノ 否適 二一九九件
- 一 設備ニ關スルモノ 否適 九〇一件
- 一 濾過及消毒ニ關スルモノ 否適 二二四件
- 一 搾乳取扱ニ關スルモノ 否適 五七七八件
- 一 從業員ニ關スルモノ 否適 四三九九件
- 一 從業員ニ關スルモノ 否適 一〇九五件
- 一 從業員ニ關スルモノ 否適 三〇五件
- 一 從業員ニ關スルモノ 否適 七四一件
- 一 從業員ニ關スルモノ 否適 二一九九件
- 一 從業員ニ關スルモノ 否適 五〇五件

無認可ニテ建物ヲ建設スルモノ 四九件

一 隔離室ニ健牛ヲ繋留スルモノ 一六件

一 乳牛檢診頭數 一九一六頭

一 其他注意事項 三六五件

牛乳販賣店 府下ニ於ケル牛乳販賣店ハ七百九十六箇所アリ此外搾乳業者中ノ有志者共同シテ大阪牛乳産業組合大阪ミル
クプラントヲ設立シホルダー式低溫殺菌器ニ依リ殺菌シタル牛乳ヲ發賣スル外均質牛乳ヲ販賣スルニ至リシハ乳界ノ一進
歩ナリトス其他一般ハ高熱殺菌(八〇度以上十分)法ニ依ル牛乳ヲ販賣セリ此等營業者ニ對シテ平素視察ヲ嚴ニシ消毒装置ノ完備ヲ
期スルモ尙且違反セルモノアル外冷却装置ノ適當ナラサルモノ又ハ店内ヲ雜用ニ供スルモノ少ナシトセス此等ニ對シテ嚴
ニ戒飭ヲ加ヘ又ハ之ヲ處分スル外牛乳罐ノ洗滌運搬車ノ清潔及從業者ノ健康診斷ヲ勵行スル外牛乳ノ品位ヲ偽リテ販賣ス
ル者等ニ對シ取締ヲ勵行シタリ其成績左ノ如シ

警察部ニ於テ爲シタル取締成績

- 一 牛乳販賣店臨檢 注意件數 九七九度
- 一 牛乳販賣店臨檢 注意件數 三六一件
- 一 牛乳検査 適當ノモノ 一三三一件
- 一 牛乳検査 不適當ノモノ 一一二六件

警察署ニ於テ爲シタル取締成績

- 一 牛乳搾取場及販賣店 臨檢度數 三七二八度
- 一 牛乳搾取場及販賣店 注意件數 二九三二件
- 一 牛乳請賣人及配達人健康診斷 人員 一一九六人内トヲホム 七二人
- 一 牛乳請賣人及配達人健康診斷 人員 結核疑似 一一人

其他ノ飲食物及飲食物用器具ノ取締

本項ニ關シテハ衛生課化學室ニ常時技師一名技手五名ヲ配置シテ取締ヲ爲スモ御大禮ニ關シ取締ノ勵行ヲ期スル爲臨時技
手一名ヲ増員シタル外藥品賣藥ノ擔當ヨリ技手七名ヲ應援セシメ之ヲ警察ノ區劃ニ依リ擔當ヲ定メ警察官吏ト協力シテ左
記箇所ニ對シ取締ヲ施行スル外警察署ニ於テハ專務員又ハ受持巡查ヲシテ隨時臨檢視察ヲ爲サシメ又ハ日ヲ定メテ特別勵

行ヲ爲シ以テ取締ノ目的ヲ達スルコトニ努力シタリ

- 一 一般飲食物及飲食物用器具ノ販賣店
- 二 食物製造所特ニ盛夏ニ際シテハ製氷所、清涼飲料水ノ製造所及販賣店
- 三 食品販賣店(露店行商夜)
- 四 食品市場
- 五 旅館料理屋飲食店食堂
- 六 劇場寄席活動寫真館其他ノ興行場

以上ノ箇所ニ對シ警察部ニ於テ取締ヲ施行シタル成績左ノ如シ

一 料理屋飲食店食堂	臨檢數	五八六件
	不良ト認ムル件數	一六八五件
一 公私設市場	臨檢數	一七八件
	不良ト認ムル件數	五三一件
一 食品製造所	臨檢數	四九件
	不良ト認ムル件數	八一件
一 劇場	臨檢數	六七件
	不良ト認ムル件數	六一件
一 食料品販賣店	臨檢數	三七件
	不良ト認ムル件數	一三件
一 旅館	臨檢數	三二八件
	不良ト認ムル件數	三二二件

飲食物其他検査成績左ノ如シ

品目	検査件數	有害件數	品目	検査件數	有害件數
人造氷	七八	四四	葡萄酒	四	一〇
泉水	四	一	蒸餾酒ノ類	二	一
ラムネノ類	二二九	六四	其他ノ酒精含有飲料	一七四	一
サイダーノ類	一六二	七	其他ノ飲食物	二一七	七六
			防腐劑類	一	一
			玩具類	二二	一
			其他ノ他	五四	一
			計	一一一八〇	六〇八

品目	検査件數	有害件數
鐵錫器具類	九〇七	二九三
其他ノ飲食物用器具	三一	五一
菓子類	三二四	一〇
蒲鉾類	七〇九	一九
罐詰瓶法類	五四三	一
醬油	一二五八	一七
酢	三二六	一
清酒	一八三二	一六

警察署ニ於テ取締ヲ施行シタル成績左ノ如シ

- 一 飲食物製造所販賣店(露店夜店行商)
 - 從業者ノ被服手指ノ清潔ニ關シ 臨時度數 一六八五一件 注意件數 八八六七件
 - 防蠅除塵ノ方法ヲ講セシメタル件數 二二七九九件
 - 清潔保持ニ關シ 臨時度數 一六八七九件 注意件數 一三〇八四件
 - 器具洗滌水ニ注意ヲ與エタル件數 四五六六件
- 一 關係從業者ノ健康診斷人員 五六四七八人内(トラホーム) 結核及疑似 三四六四人 一六三三人
- 一 飲食物及飲食物用器具ノ衛生的検査ヲ行ヒタル件數 一九六六四件
- 一 御大禮記念用品ニ有害性着色料検査ヲ行ヒタル件數 二八〇件

食品市場 凡ソ市民ノ食膳ニ上ル魚菜中公私ノ食品市場ヲ通シテ個人ノ庖厨ニ分配セラル、モノ極メテ多シ從テ其販賣品並之カ取扱ニ關シテハ衛生上重大ナル關係ヲ有ス大阪市ニ於テハ社會事業ノ一トシテ曩キニ公設市場ヲ設置セシカ市民ノ便益少ナカラス多大ノ效果ヲ收メタルヲ以テ爾來各所ニ之ヲ設置セシカ一面之ニ刺戟ヲ受ケテ私設市場勃然トシテ起リ今

ヤ公私ヲ併セテ百六十二箇所ノ多キニ達セリ而シテ公設市場ニ在リテハ監督吏員ヲ常置シ販賣品ノ價格品質ノ良否場内ノ清潔等周到ナル取締ヲ施行シ遺憾ナキカ如キモ私設市場ニ至リテハ之ニ及ハズ從テ適當ノ取締ヲ要スヘキモノアレハ御大禮ニ關シ特ニ衛生技手ヲシテ之ニ臨檢セシメ又ハ警察官吏ヲシテ隨時視察セシメテ取締ノ周到ヲ期シ就中魚腸骨塵芥ノ搬出ハ閉場後之ヲ場外ニ搬出セシメ相當處理ヲ爲サシメツ、アリ其成績左ノ如シ

- 一 市場ノ衛生設備及清潔保持ニ關シ 臨檢度數 二九八八
注意件數 四二〇三件
- 一 市場ニ對シ食品取締法規ヲ勵行シタル件數 五六一六件

六 旅館、料理店、飲食店、貸座敷等ニ關スル件

御大禮ニ關シ本項取締ニ付テハ警察署ニ於テ專務員ヲ置キ特ニ臨檢視察ヲ勵行シテ衛生上ノ設備ヲ按察シ旅人及顧客ノ安固ヲ保持スルト共ニ各營業者ニハ衛生上改良刷新ノ施設ヲ誘導シ且衛生智識ノ啓發ニ努メ這個取締ノ實ヲ擧ケンコトヲ期シタリ就中從業者ノ健康狀態ニ嚴密ナル注意ヲ加ヘ客用器具並供用ノ飲食物ニ對スル衛生的措置ニ關シテ極力注意訓戒ヲ加ヘテ其實行ニ努力スルト共ニ一面組合長ヲ各警察署ニ招致シテ組合員ノ遵守スヘキ事項ヲ指示シ之ヲ一般組合員ニ通告シテ其實行ヲ期セシメタリ今當該營業者ニ對シ施設ヲ督勵シタル事項ヲ概記スレハ左ノ如シ

- 一 客室内ヲ清潔ニシ採光換氣ヲ十分ナラシムルコト
- 二 飲食物調理所ハ採光ヲ十分ニシ且防鼠防塵防蠅ノ設備ヲ完全ニシ流シ下水水溝汚物溜ノ不完全ナルモノハ之ヲ改善スルコト
- 三 調理人ニハ清潔ナル白衣ヲ着用セシメ其他身體手指ノ清潔ヲ保タシムルコト
- 四 飲食物ノ原料ヲ精撰スルコト
- 五 飲食器具ノ清潔ヲ保持スルト共ニ鍍金ノ剝落シタルモノ又ハ固有ノ光澤ヲ有セサルモノハ使用セサルコト
- 六 調理シタル飲食物ハ防蠅防塵ノ設備ヲ怠ラサルコト
- 七 飲食物ノ殘滓及魚腸骨ノ類ハ一定ノ函ニ收拾シ可成速ニ搬出スルコト

八 宿泊人ノ健康狀態ニ注意シ異狀アリト認ムルトキハ速ニ届出ツルコト

九 客用ノ寢具類ハ白布ヲ蔽ヒ之ヲ一客毎ニ取換ヘ且時々日光ニ乾曝スルコト

- 一〇 貸浴衣ハ一客毎ニ之ヲ取換ユルコト
- 一一 洗面場浴場便所ノ清潔ニ注意シ且防臭劑ヲ散布シ又ハ時ニ石灰乳ヲ投入スルコト
- 一二 手洗鉢ハ可成流出裝置トシ一客毎ニ清潔ナル手拭ヲ使用セシムルコト
- 一三 齒揚子手拭ハ一客毎ニ改ムルコト
- 一四 唾壺ノ配置ヲ周到ニシ且毎日掃除ヲ怠ラサルコト
- 一五 灰吹ハ唾壺ニ代用セラルルコトアルヲ以テ清潔ニスルコト
- 一六 家族雇人ノ健康診斷ヲ行フコト

以上列擧ノ事項ニ就キ之カ實行ヲ督勵シタル成績左ノ如シ

- 一 客室内ノ清潔保持 臨檢度數 三七九九五
注意件數 一四四〇〇件
- 一 臺所、調理所ノ採光換氣、防塵防蠅ノ設備ニ關シ改善又ハ注意ヲ加ヘタル件數 四六一一件
- 一 流シ下水水溜汚物溜ニ改善又ハ注意ヲ加ヘタル件數 一七一二件
- 一 洗面所浴場便所ノ設備ニ注意ヲ加ヘタル件數 二七〇三件
- 一 便所ノ手洗ヲ流出裝置ト爲サシメタル件數 八一二件
- 一 客用寢具ニ對シ注意ヲ與ヘタル件數 五七六八件
- 一 貸浴衣ニ對シ注意ヲ與エタル件數 二〇五七件
- 一 家人使用人ニ健康診斷ヲ行ヒタル人員 六五七八七人
トホホム患者 三〇七八人
結核及疑似 三四九人
- 一 以上ノ外衛生上ノ取締規則ヲ勵行シタル件數 五〇三七件

七 其ノ他衛生取締ヲ要スル各種營業ニ關スル件

イ劇場活動寫真館寄席興行場

多衆ノ來來ヲ目的トスル劇場、活動寫真館、寄席其ノ他諸興行場ハ近來漸次改良セラレ其ノ採光換氣又ハ客席ノ施設ヲ首メ便所ヲ水槽便所ト爲ス等著シク進歩ノ實績ヲ示スニ至リシモ營業者ハ營利ニ汲々タル結果往々ニシテ公衆衛生上最良ノ施設ヲ有效ニ保持スルコトヲ閑却スル向ナキニアラス就中活動寫真館ノ如キハ採光換氣ニ對シテ往々善良ノ注意ヲ怠ル爲觀客ニ及ホス衛生上ノ危害少ナカラス之等ニ對シテハ常ニ取締ヲ勵行スル所ナルモ御大禮ニ關シテハ場内ノ清潔座蒲團其他敷物等ノ日光乾曝唾壺ノ配置便所ノ清潔、消毒及防臭設備並賣店ノ衛生的設備等ニ對シ警察部ヨリ吏員ヲ派遣シテ検査ヲ勵行スル外臨監ノ警察官吏ヲシテ夫々取締ヲ勵行セシメタリ其成績左ノ如シ

一 臨檢度數 八三六八

一 注意ヲ與ヘタル件數 二五二九件

ロ理髮店

府下ニ於ケル理髮業者ノ數ハ男女合セテ一萬九千五百四十名ニシテ内店舗ヲ有スル者九千六百六十一名店舗ヲ有セサル者九百二十八名助手徒弟八千九百五十一名ニシテ組合數六十二ヲ算ス而シテ此等營業者ニシテ試驗合格又ハ學校講習所ヲ卒業シタル者三千二百四十名ニ達シ從來營業者ノ數七千三百四十九名ニ比シ約半數ハ當該學術ヲ修メタルモノナル外當府認可及指定ニ係ル大阪理髮專修學校ニハ男女二百名ノ生徒ヲ有シ九ヶ月間ヲ以テ卒業シ又女子ノ爲ニ美髮專修學校在リ修業年限二箇年ヲ以テ卒業ス此等二者ハ何レモ生理、解剖傳染病、消毒方法ノ大意ヲ授ケ斯道ニ必要ナル智識ヲ習得セシムル外試驗制度ニ刺戟セラレ斯道ヲ研究スル者日ニ多キヲ加フルヲ以テ斯界ニ於ケル智識ハ益々向上シ將來多年ヲ出テスシテ從來營業者ハ影ヲ没シ學術技能ヲ有スル營業者ヲ網羅スルニ至ルヘキハ想像ニ難カラス而シテ其營業所ノ設備ニ至リテモ營業者ノ自覺ト當局ノ指導督勵トニ依リ着々改良ノ實ヲ舉ケルト共ニ從業者ノ被服客用器具ノ清潔及消毒ハ進ンテ之ヲ勵行シ以テ顧客ヲ吸集スルニ努ムル爲近來頓ニ面目ヲ一新シ衛生上見ルヘキモノ少ナシトセス而シテ又御大禮ニ際シテハ尙進ンテ取締規則ヲ勵行センカ爲組合長ヲシテ營業者ノ心得ヘキ事項ヲ印刷配付セシメ一面專務員ヲシテ其行否ヲ監視セシム殊ニ郡部僻陬ノ地ニ

在リテハ前記ニ及ハサルコト遠ケレハ之ニ對シテハ一層視察ヲ勵行シテ之ヲ誘導啓發シ取締上遺憾ナキヲ期シタリ其ノ成績左ノ如シ

一 臨檢度數 一三一〇

一 注意ヲ與トタル件數 一四三二九件

一 健康診斷人員 二三三七七人内トラホム患者 一三九五
結核及疑似患者 一二四

ハ浴場

當府下ニ於ケル湯屋營業者ハ千五百三十八名ナリ近來市内ニ在リテハ其建築、設備ハ著シク改良セラレ用水ハ勿論浴槽、洗湯上リ湯脱衣場便所ノ設備等殆ント間然スル所ナキ迄嶄新ナル設備ヲ施シタルモノ續々トシテ建設セラル、ニ至リシハ蓋シ衛生思想ノ發達ニ伴フ當然ノ現象ニシテ公衆衛生上喜ハシキコトニ屬ス而シテ御大禮期ニ在リテハ都人ハ勿論多數ノ地方人入浴スルモノアリ從テ浴場内衛生設備ハ一層注意ヲ要スヘキモノアレハ特ニ警察官吏ヲシテ浴場ニ臨檢セシメ浴槽洗場ノ清潔保持浴湯ニ藥湯ノ更新ハ勿論上リ湯ヲ豊富潤澤ナラシメ脱衣場及容器ノ清潔ヨリ唾壺ノ設備便所ノ消毒方法等ヲ監視セシメ特ニ郡部ニ於テハ用水ニ注意ヲ加フル等這個營業者ニ對スル公衆衛生ノ事項ヲ遺漏ナク施行シタリ其成績左ノ如シ

一 臨檢度數 三五九三

一 注意ヲ與ヘタル件數 三〇五〇件

一 從業者健康診斷人員 六〇七五人内トラホム 三六〇
結核疑似症 二九

ニ貸夜具營業者

貸夜具營業者ハ府下ニ於テ三百九名ヲ算ス而シテ此等ノ内半數以上ハ大阪市ノ周圍部ニ於ケル營業者ニシテ主トシテ木賃宿又ハ低級生活者ノ需用ニ應スルヲ以テ目的トスルモノナレハ品質劣等汚損甚シク且貸付固定スルモノアレハ取締上極メテ困難ヲ感スル所ナリ而シテ御大禮ニ關シテハ特ニ臨檢視察ヲ嚴ニシテ在庫品ハ日光乾曝ヲ獎勵シ汚染セルモノハ洗滌修補ヲ爲サシメ傳染病發生ノ場合此等貸夜具ニ關聯スルモノアルニ於テハ其機會ヲ利用シテ消毒其他適當ノ措置ヲ爲シ又冬期需用期

ニ入ル以前ニ於テ洗滌修補ヲ勸告シテ之カ整頓ヲ爲サシメ一面從業者ノ健康診斷ヲ行フ等可及的取締ヲ勵行シ需用者ノ安全ヲ期シタリ其成績左ノ如シ

一 臨檢度數 六〇六

一 注意ヲ與ヘタル件數 四八〇件

一 從業者健康診斷人員 二一六人内^{トヲホム}結核疑似 九人

ホ工場衛生

御大禮ト工場製造場トノ關係ハ直接間接ニ影響スル所少ナカラス就中食品及手工品ノ製造工場ニ至リテハ、其製品ノ分布上極メテ深キ關係ヲ有スルモノナリ而シテ之カ取締ニ關シテハ工場課ノ主管ニ屬スルモ各工場ニ於ケル狀況ヲ概記スレハ左ノ如シ

府下ニ於ケル工場ハ大小合セテ七千二百七其職工數二十三萬三千九百二十二ニシテ内原動力ヲ使用スル工場六千二百七十五之ニ使役スル職工二十二萬六千九百五十九人動力ヲ使用セサル工場九百三十二之ニ使役スル職工六千九百六十三人ナリ而シテ此等工場中職工千人以上ヲ使役スルモノヲ舉クレハ紡績工場二十三箇所ノ外染工場、船舶車輛工場、綿糸綿布工場、足袋製造工場、莫大小工場、鑄鋼場、金屬製品工場、毛織物工場、毛斯倫工場等合セテ十一箇所其職工總數五萬五千八百六十八人ナリ此等ハ何レモ寄宿舎ヲ有シ職工ヲ收容セリ

醫療機關前記千人以上ノ職工ヲ有スル工場ニ在リテハ工場内ニ醫療機關ヲ設置シ醫師一名乃至五名藥劑師一名看護婦一名乃至七名ヲ置キ別ニ病室ヲ有スルモノハ收容定員十名乃至百七十名ヲ收容シ得ル設備ヲ爲セリ其ノ病室ヲ有セサルモノニ在リテハ病院ト特約シテ之ニ收容シ又醫療機關ヲ有セサルモノニ在リテハ附近醫師又ハ醫師會ト團體契約ヲ爲シテ治療上支障ナキヲ期シツ、アリ

健康診斷 大工場ニ於ケル寄宿職工ノ健康診斷ハ毎月日ヲ定メテ施行スルモノト不定時ニ施行スルモノトアルモ多クハ毎年二回一齊ニ施行スルヲ以テ普通トシ概シテ實績ヲ舉クルモノ、如シ此外傳染病流行時ニ在リテハ不定時ニ全部又ハ一部ノ職

工ニ對シ健康診斷ヲ行ヒ腸チフス^{チフス}發生ノ場合ニハ一般ニ豫防注射ヲ施行スル向アリ

トラホーム患者ハ其數ヲ知り難キモ牢固タル病竈ヲ築ケルモノ、如シ之ニ對シテハ工業主ハ治療ニ豫防施設ニ力ヲ盡ス所アルモ憾ムラクハ治療上ノ要求ト業務ノ必需事項ト相背馳シ治療ノ根本ニ觸ル、能ハサルハ本病蔓延ノ主因タリ之ニ對シテハ差當リ工業主ノ持續的施設ト職工ノ自衛ヲ獎勵スル外目下對策ナキモノ、如シ肺結核ノ各工場ニ浸淫セル程度ハ之ヲ知り難キモ歸郷職工ニシテ多數此患者アルヲ以テ見レハ其一班ヲ窺フニ足ル之カ患者ノ處置ハ一時病室ニ隔離的收容ヲ爲シテ靜養セシメ病勢ヲ觀察シタル上持續的療養又ハ歸郷セシムルモ此間ニ於ケル病毒ノ傳播ニ想到セハ蓋塞心ニ堪ヘサルモノアリ近時工業主モ大ニ覺醒スル所アリ檢診ニ隔離ニ消毒ニ療養上ニ適當ノ施設ヲ爲ス向アルモ之カ根絶ハ容易ニ望ムヘカラサルヲ遺憾トス

職工賄 大工場ニ於ケル寄宿職工ノ賄ハ職工一人ニ對シ一日二十錢乃至四十錢ノ範圍内ニ於テ各工場區々ニ定メラレ之ニ對シ三錢乃至二十錢ヲ會社ヨリ補給スルヲ通例トス主食物ハ米麥混用ヲ普通トシ米ノミヲ使用スル向少數アリ副食物ハ一週間毎ニ献立表ヲ作り醫員ノ査定ヲ經テ調製セラル朝ハ概シテ味噌汁漬物ヲ給シ其他ハ野菜煮物ヲ主トシ偶々魚獸肉ヲ給ス食事時間ハ朝ハ五時ヨリ晝ハ十一時ヨリ一時迄ノ間ニ晝ハ五時ヨリ七時迄トシ夜食ヲ取ル向ハ午後十一時乃至午前一時ノ間ニ於テス食餌ノ調理ハ清潔ト營養價值ニ於テ昔日ノ如クナラス大ニ改良セラレタルヲ見ル炊事夫ハ職工ノ數ニ依リ十人乃至五十人ヲ使用シ白色ノ被服ヲ着シ偶々白帽前掛ヲ着用スル向アリ何レモ比較的清潔ナリ又每週一回又ハ一箇月一回健康診斷ヲ行ヒ其健康保持ニ努メツ、アリ食堂ハ地盤ノ設備ヲ首メ採光換氣防鼠防蠅除塵竝食器清潔消毒及其整理食餌給與ノ方法其他食堂内ノ整理等近來著シク改良セラレタル向アルモ亦依然トシテ舊式ヲ墨守スル向少ナカラス此等ハ漸次改良ノ要アルヲ認ム用水ハ市内ハ水道水ヲ使用シ郡部ハ鑿井水ヲ瀆過シテ使用ス食物ノ殘滓ハ養豚家等ト契約シテ當日場外ニ搬出ス

寄宿舎ハ七十室以上三百餘室ノ大ニ至ル迄工場ノ大小ニ依リ各必要ノ設備ヲ爲ス概シテ木造二階建總テ疊敷ニシテ二人室二十人室ニ區劃シ收容職工一人ニ對シ面積疊一疊三分乃至一疊半ノ割合ヲ以テ分配セラル夜具ハ一人蒲團三枚トシ之ヲ專用トスル向多キモ亦共用トスル向アリ其襟部ニハ白布ヲ以テ被包シ敷布ヲ用ユル向アリ又之ヲ用ヒサル向アリ其洗滌ハ職工ニ於

テ負擔スル向アルモ多クハ會社ニ於テ爲スヲ普通トス蒲團洗濯修補ハ常備雜役婦ヲ以テ之ニ從事セシムルモノハ比較的清潔ナルモ然ラサルモノニ在リテハ甚シク汚染セルモノアリ又蒲團ノ日光乾燥ハ一週一回ヲ理想トスルモ多クハ行ハレ難キ感アリ室内ノ栖掃ハ室長ノ指揮ニ依リ共同栖掃ヲ爲ス外一週一回大掃除ヲ爲スヲ常例トス唾壺ハ適當ニ配置セラル、モ使用ヲ閉却シ又ハ掃除ヲ怠ル向少ナカラス便所ハ水槽便所ヲ設置スルモノアルモ大多數ハ汲取便所ニシテ内容物ノ排除ハ克ク行ハレツツアリ

屑物消毒ハ消毒所收藏所ハ規定ノ設備ヲ爲シ完全ニ近シ

傳染病患者數 前記職工千人以上ヲ有スル工場ノ寄宿舎ニ於テ本年一月ヨリ十一月末日ニ至ル間傳染病患者ノ發生ハ左表ノ如シ而シテ毛織物會社ニ發生シタル十八名ハ一月八日初發二月廿三日發生ヲ最後トシテ終熄シ其他ハ何レモ散發的ナリ

發生場所	腸「チ」フス	バラチフス	赤痢	計
紡績	一二	一	一	一三
織物	一	一	三	四
毛織物	一八	二	一	二〇
計	三一	三	三	三七

八 花柳病豫防ニ關スル件

花柳病豫防法實施前當廳ニ貸座敷業取締ヲ招致シテ之カ實施ニ關シ業者ノ心得フヘキ事項ヲ訓示シ特ニ代用診療所設置ニ關シ協議スル所アリ之ニ對シテハ目下詮議中ニ屬ス而シテ法令實施期ニ入リテハ接客業者ヲ遊廓所在地又ハ警察署ニ招致シ部員ヲシテ法令ノ趣旨、病毒ノ危害、傳染ノ經路、豫防藥品、豫防器具及洗滌藥、洗滌具ノ使用等ニ關シ細大洩サス説明ヲ爲シテ其實行ヲ勸奨シ一面活動寫眞ヲ利用シテ自衛心ヲ喚起シ豫防智識ノ普及ニ努メ更ニ遊廓取締ヲシテ業者一般ニ注意書ヲ配布セシメ又一面部員二名ヲシテ貸座敷業者ノ各戸ニ臨ミ其一家内ニ於ケル娼妓、仲居等ヲ集メテ前記ノ事項ヲ懇示シ目下仍繼續中ニシテ之ヲ府下全部ニ及ホサントスル計畫ナリ此舉ハ大ニ各業者ノ注意ヲ喚起シ痛切ニ豫防措置ノ必要ヲ感得シタルモノ、如ク

效果ノ大ナルモノアルヲ認メタリ此外大阪府衛生會ニ於テハ該病豫防ニ關シ平素講演會、映寫會ヲ開催シ又ハパンフレットヲ頒布スル等豫防上努力スル所アリシカ豫防法實施ヲ機會トシ遊廓貸座敷其他特種營業者ニ對シ豫防上必要ノ警告ポスターヲ頒布セントシ之カ援助ヲ求メタルヲ以テ適切ノ施設ト認メ結核豫防週間ノ例ニ倣ヒ援助ヲ與ヘタリ今警察署ニ於テ本病豫防上措置ヲ爲シタル成績ヲ舉クレハ左ノ如シ

豫防智識ノ啓發ニ努メタル回数

一〇九

營業者ヲシテ豫防具豫防藥ヲ備付ケシメタル件數

二六二七件

九 結核トラホーム豫防ニ關スル件

イトラホーム豫防

トラホーム豫防ニ關シテハ當府平素三人ノ醫員ヲ以テ之ニ充テ時期ト場所ヲ指定シテ特種營業者並其從業者及直接客ニ接スル者ニ對シ檢診ヲ施行スル所ナルモ本年ハ御大禮ノ關係上特ニ各種組合ニ對シ自衛的檢診ヲ獎勵シ之ト相俟テ其周到ヲ期シタリ而シテ檢診上發見シタル患者ニ對シテハ治療券ヲ交付シテ治療ヲ強制シ重症患者ハ從業ヲ禁止シ其他ハ治療ノ實行ヲ條件トシテ從業ヲ認容シ一面常ニ家庭ヲ視察シ手拭洗面器ノ區別ヲ勵行スル外治療ノ行否ヲ監察シ之ヲ怠ルモノニハ嚴戒ヲ加ヘ又一面多衆ノ集合スル場所及客ノ來集ヲ目的トスル營業者ニ對シテハ手拭ノ清潔ヲ勵行スル外手洗水ノ流出裝置ヲ獎勵シ神社佛閣ノ手水鉢ノ手拭ヲ撤去セシメ手洗裝置ノ清潔ヲ期スル等凡ソ豫防手段トシテ取ルヘキ方法ハ遺漏ナク之ヲ施行シタリ其檢診成績ハ左表ノ如クニシテ之カ爲患者ヲ發見スルコト九千八百一十一人ニ達シタリ

昭和三年自一月至十一月結核及「トラホーム」豫防法ニ據ル健康診斷施行成績

受診人員	ト			男女計	男女別百分比	男女計百分比	結		計
	重	輕	疑似				同	疑	
男五九、五九一	六一	二、八八一	一〇	六、一二一	四・九五	五・〇八	一一	二七〇	二八一
女六〇、八七七	六三	三、〇八五	二一	六、一二一	五・二〇	五・〇八	五	四六四	四六九

昭和三年自十一月結核及「トラホーム」自衛的健康診断施行成績

受診人員	ト ラ ホ ム			男女計	男女別百分比	男女計百分比	結核		計
	重症	輕症	疑似症				結核	同疑	
男三二、二一八	一九九	一、五二二	一八八	一、九〇八	六・一一	五・九九		一	五
女三〇、三五三	一一七	一、五〇〇	一六五	一、七八二	五・八七			一	一
				三、六九〇					五

右ノ外公團體ニ於テ診療所ヲ設置セルモノ市立二十八町村立十五及私立團體ノ經營セルモノ三合計四十六箇所ニシテ此内大阪市内十九箇所堺市ノ四箇所ハ常設トシテ診療ニ從事シ岸和田市ノ五箇所ハ小學校兒童ノ患者ノミヲ治療シ其他ノ町村立ニ在リテハ必要ニ應ジテ診療ヲ開始シ私立團體ノ經營ニ係ルモノハ常設ナリ今其診療成績ニ就キ主ナルモノヲ掲クレンハ左ノ如シ

自昭和三年十一月トラホーム患者診療成績

大阪市	新患者	舊患者	計	治療人員	治一日平均	全治人員	中止人員	現在患者數
大 阪 市	一三、五二四	四、〇七七	一七、六〇一	六一九、九二四	二、三九八	三、五八七	九、四七〇	四、五四四
堺 市	三、六六四	五一一	四、一七九	五八、五五九	三、〇四五	一、六〇四	二、〇五〇	五二五
計	一七、一八八	四、五九二	二一、七八〇	六七八、四八三	五、四四三	五、一九一	一一、五二〇	五、〇六九

結核豫防

結核ノ檢診ハトラホームノ檢診ト同時ニ之ヲ施行シ患者ニハ從業ヲ禁止シ且視察ヲ勵行シテ取締ノ徹底ヲ期スル所アリ而シテ御大禮ニ對シテハ法令ノ規定ニ依ル場所ニ對シ唾壺ノ配置ヲ首メ寢具ノ取締ヲ勵行シ平素之ヲ持續シテ遺憾ナキヲ期シタリ今トラホームノ豫防ト共ニ其取締ノ成績ヲ掲クレンハ左ノ如シ

- 一 唾壺ノ配置ヲ勵行シタル件數 八一二四件
- 一 手洗鉢洗面所ノ清潔ヲ勵行シタル件數 二七〇三件

一 手洗鉢ノ流出裝置ヲ爲サシメタル件數 八一二件

一 神社佛閣ノ手洗裝置ニ改善ヲ加ヘシメタル件數 三七五件

一 檢診ヲ行ヒタル人員府ノ檢診 一三〇、四六八人 計 一八二〇三九人内 トラホーム患者 九八一 結核及其疑似症 七六六

結核早期診斷所 日本赤十字大阪支部病院ノ付屬トシテ經營ニ係ルモノ一其ノ他私立診斷所二箇所アリ昭和二年中ニ於テ診斷ヲ爲シタル人員千八百三十五人ナリ

結核豫防週間 大阪結核豫防協會、大阪府衛生會ノ共同主催ヲ以テ本年四月二十一日ヨリ同二十七日迄ヲ結核豫防週間トシポスターノ揭示ニ講演ニ映畫ニ演藝利用宣傳ニ其他種々ノ方法ニ依リ之カ豫防宣傳ヲ爲サントテ企テタルヲ以テ當府ハ之ニ對シ後援ヲ爲シ諸種ノ便宜ヲ與フルト共ニ吏員ヲ派遣シテ講演ヲ爲サシメポスター、印刷物健康ボタンノ頒布ヲ援助シ尙此機會ニ於テ各警察署ヲシテ結核豫防法第四條第一項第三號ニ基ク豫防施設ヲ勵行セシメタル其成績左表ノ如シ

講演會ト映畫開催度數 三八回 聽講者數 七九、八九三人

ポスター、ピラ其ノ他印刷物頒布數 八五四、四七八枚

健康ボタン頒布數 一五〇、〇〇〇個

結核豫防法第四條第一項第三號ニ基ク豫防施設調査成績 (昭和三年四月結核豫防週間中管下各警察署ニ於テ一齊調査ヲ行ヒタル成績)

現在戸數	調査戸數	唾壺ヲ備付サル戸數	同位配置	内 障		液體ノ種類	處 置		便所	下水	唾壺ヲ備付シタル戸數	營業用器具被包	同 上
				有痰	無痰		投棄	未投棄					
1,111,111	1,111,111	1,111,111	1,111,111	1,111,111	1,111,111	1,111,111	1,111,111	1,111,111	1,111,111	1,111,111	1,111,111	1,111,111	1,111,111

十 痲疹豫防ニ關スル件

浮浪徘徊ノ痲患者ハ多クハ寺院ノ附近ニ出沒スルヲ常トスルヲ以テ之ニ對シテハ平素取締ヲ嚴密ニシ彼等ヲシテ徘徊ノ餘地ナカラシムルコトニ注意スルモ偶々取締ノ間隙ニ乘シテ出沒スルモノナキニアラサレハ御大禮ニ對スル取締トシテハ專ラ此點ニ意ヲ用キ一面自宅療養ノ患者ニ對シテハ數次忠告ニ臨檢シテ多衆ノ集合スル場所又ハ客ノ來集ヲ目的トスル場所ニ出入セシメ

サルコトヲ嚴達シ以テ取締上遺憾ナキヲ期シタリ而シテ外島保養院收容定員ハ四百名ニシテ聯合府縣ノ收容申込ニ應スル能ハサル状態ニ在ルヲ以テ本年六月聯合府縣ト協議シ更ニ百五十名増加收容スヘキ病舎増築ヲ決議シ直ニ工事ニ着手シ九月廿七日竣工スルト共ニ救護中ノモノ及新タニ發見シタル浮浪患者ハ悉ク之ヲ收容シタリ之カ取締ノ成績ハ左ノ如シ

患者ヲ保養院ニ送致シタル人員

四二人

浮浪徘徊ノ癩患者ヲ取締タル件數

一七七件

自宅療養患者ニ對シ注意ヲ與ヘタル件數

四三三件

十一 精神病院ニ關スル件

府下ニ於ケル精神病院ハ公私立ヲ合セテ十一箇所アリ而シテ精神病者ハ病院監置一三九五名私宅監置六一名不監置一八四五名計三三〇一名(昭和三年八月末現在)ナリ而シテ患者中ニハ暴行放火ノ危險行動ニ出ツル虞アルモノ少ナカラサルノミナラス危險思想抱持者又ハ上書建白ノ虞アルモノ其他御大禮警備上特ニ警戒ヲ要スルモノアレハ府立中宮病院ニ對シテハ院長ヲ督勵シテ嚴密警戒ニ當ラシムルト共ニ課員ヲシテ特ニ臨檢視察ヲ行ハシメ其他ノ私立病院ニハ所轄警察署長ヲシテ嚴重警戒ヲ加ヘシムルト共ニ警部以下六名ヲシテ十月二十日ヨリ十一月二十六日ニ至ル間間斷ナク視察ヲ爲サシメ患者ノ待遇狀況、入院患者ノ定員、構造設備ノ完否監護ノ適否就中脱走ノ原因トナルヘキ事項ニ重キヲ置キテ取締ヲ勵行シ其違反ノ點ニ對シテハ視察員ヨリ嚴重警告ヲ加フルト共ニ所轄警察署長ニ通達シテ直ニ之ヲ改メシムル等ノ處置ニ出テタルヲ以テ各病院ハ警戒上自然緊張ノ度ヲ加ヘ取締上遺憾ナキヲ得タリ其取締成績左ノ如シ

警察部ニ於テ取締ヲ爲シタル成績

- 一、病室ノ構造設備不良ノモノ 三件
- 一、患者定員超過ノモノ 一〇件
- 一、患者ノ所置並治療ノ適切ナラサルモノ 三件
- 一、患者數ニ比シ看護人及病棟數ニ比シ警護人不足ノモノ 三四件

警察署ニ於テ取締ヲ爲シタル成績

- 一、精神病院臨檢度數 一九六
- 一、管理ニ關シ注意ヲ與ヘタル件數 一二五件

十二 防疫ニ關スル件

イ、一般傳染病豫防(ペストヲ除ク)

當府防疫ニ關シテハ本書第二款ニ掲クル吏員ヲ以テ之ニ方ラシメ平素ニ於テ夫々計畫ヲ立テ防疫ノ事ニ從ハシム而シテ府下ニ於ケル傳染病發生ノ狀況ハ左表ニ示ス所ノ如ク近年概シテ増加ノ趨勢ニ在リ就中赤痢ハ大正十五年以來甚シク増加シ特ニ本年ニ於テ一層ノ増加ヲ見ルニ至レリ其原因ハ大阪市ノ周圍部則チ新市ニ激發セシニ依ル是或ハ人口ノ密度、生活態樣、交通關係等種々ノ作用ニ依リ健康状態ノ惡化スル外水道ノ普及セサル地域ニ於ケル飲料水ノ關係ニ依ルニアラサルカ腸「チフス」ハ大正十四年以來減少ノ傾キニアリシモ本年ニ至リ著シク増加シ傳染病患者總數ノ四二%ヲ占メ主トシテ大阪市内各區ニ涉リ散發的ニ増加ヲ示シタリ而シテ之カ傳染系統ニ付テハ特ニ徵スヘキ原因ヲ發見スルコト能ハス本病ノ撲滅ハ上下水道ノ完成其他衛生的改良ニ俟ツヘキハ論ヲ俟タサル所ナルモ大阪市ノ如キハ尿管ノ處置未タ充分ナラス且其周圍部ニ於テハ下水ノ素ヨリ上水道未タ普及セサルヲ以テ之カ爲ニ直接間接ニ傳播ノ原因ヲ爲スニアラサルナキ乎由來傳染病豫防ニ關シテハ幾多ノ方策アリト雖就中患者ノ早期發見ニ努メ保菌者ノ檢索ヲ周密ニシ患者ノ隔離及適切ナル消毒方法等ニ依リテ其病源ヲ撲滅シ更ニ平時ニ於ケル施爲施設ニ依リテ衛生状態ノ改善ニ力ヲ致シ一面民衆ニ對シ豫防智識ノ啓發ニ努ムルヲ以テ要諦トス當府ニ於テハ夙ニ此點ニ留意シ防疫上間斷ナク檢病調査ヲ首メ死體檢案ニ患者檢診ニ遺漏ナキヲ期シ一面衛生講話又ハ路傍演說ヲ試ミテ智識ノ啓發ニ努メポスター其他印刷物ヲ配布シテ豫防宣傳ニ努ムル等凡ソ豫防上適當ト認ムル施設ハ之ヲ施シテ忘ルコトナシ殊ニ大禮ニ對シテハ特ニ深甚ナル注意ヲ拂ヒ諸多ノ計劃ヲ樹テ其作業ノ徹底ヲ期シ一面都市醫師會ト連絡ヲ取り患者ノ早期發見ニ努メ更ニ京都府接壤地域ハ勿論大阪市内特種營業者食品市場從業者等ノ健康診斷並檢便ヲ施行シ豫防上遺策ナキヲ期シ御大禮期日切迫スルニ從ヒ吏員ヲ臨時増員シテ之ヲ適所ニ配置シ警察官吏ト協同シテ豫防ノ事ニ方